

2011年度研究部会活動記録

部会主任名	小西秀樹	現代政治経済研究所
研究課題：政治経済行動と制度設計・刷新の理論・実証分析（現代政治経済学部会）		
月/日	活 動 記 録	
5/31	以下のセミナーを開催した。	
	報告者：黒阪健吾氏（北海道大学） タイトル：Agenda Setting and Possibility of Public Good Provision with Network Size Economy: An Example of Implicit Logrolling in Committee Voting	
7/19	報告者：安達貴教氏（名古屋大学大学院経済学研究科） タイトル：Estimating a Cooperative Game of Bargaining: The Case of Government Formation	
	報告者：籠谷公司氏（Trinity College Dublin） タイトル：Signaling, Trade, Alliance Commitment in Peacetime	
7/26	報告者：随 清遠氏（横浜市立大学）	
7/28	タイトル：交渉過程としての流通化改革：中国における株式制度改革について 報告者：増田宗人氏（日本銀行）	
10/1	タイトル：Measuring inequality in Japan during 1989-1999 報告者：日引 聡（国立環境問題研究所）	
12/2	タイトル：気候変動がコメ生産に与える影響に関する実証分析 報告者：石瀬寛和氏（日本銀行）	
12/13	タイトル：Polarized America in Trade: the Border Effect between the Red State and the Blue State 報告者：籠谷公司氏（Trinity college Dublin）	
1/12	タイトル：Find Your Weakness: Domestic Turmoil and Deterrence Failure 報告者：寺井 公子（法政大学）	
1/17	タイトル：財政赤字の制度的要因－誰が決定し，誰が負担するのか 報告者：桃田 朗氏（筑波大学）	
1/18	タイトル：Timing of Childbirth, Capital Accumulation, and Economic Welfare 報告者：浅古泰史氏（日本銀行）	
1/25	タイトル：The Fiscal Consequence of Term Limits in Legislatures	
3/10	「東アジア圏の政治経済制度転換と国際相互依存」と題するカンファレンスを開催した。プログラムは次の通り。 司会：米沢女子短期大学 鈴木久美・高崎経済大学 佐藤綾野（報告&質疑応答 30分） 11：00～11：05 開会の挨拶 早稲田大学 小西秀樹 11：05～11：35 早稲田大学 上田貴子（with Fengye Son） “Intergenerational Economic Mobility in Taiwan” 11：35～12：05 アジア経済研究所 木村 公一朗	

3月	「技術格差と企業の境界」 13：00～13：30 早稲田大学 小西秀樹 「政府内部における権限配分のあり方について」 13：30～14：00 米沢女子短期大学 鈴木久美・高崎経済大学 佐藤綾野 (共著：大東文化大学 松田慎一) 「マイクロファイナンスにおける新たな潮流－ASAによるグループ貸付の実例から－」 14：30～15：00 東北大学 大東一郎 「「人間開発」の経済成長モデル：生産的消費仮説と均衡の不決定性」 15：00～15：30 新潟大学 芹澤伸子 「民営化と権限委譲 (Privatization and the delegation)」 15：45～16：15 北九州市立大学 魏芳 “Strategic Trade Policy and Managerial Incentives in a Mixed Duopoly” 16：15～16：30 閉会の挨拶 東北大学 大東一郎 一昨年にGLOPE IIで実施したシンポジウムで当部会メンバーが報告した成果は、小西秀樹編著『政治経済学の新潮流』として、勁草書房から刊行された。部会メンバーの貢献は次の通り。 序章 政治経済学の古くて新しい潮流[小西秀樹] 第2章 国籍取得要件と政治的競争：モデル分析と事例研究[中井遼] 第3章 官僚の情報提供における選挙の役割[友利厚夫] 第7章 FTA締結と国内交渉[田場弓子] 第9章 地方交付税は客観的に決定されているか：党派性バイアスの検証[田村健一] 第10章 集権と分権の政治経済学：政策担当者の出世欲とヤードスティック競争[小西秀樹] 第13章 一般選好下の共通エージェンシーゲームにおける均衡間の関係[安達剛] 第14章 投票ゲームの解の遂行：政治的環境における提携形成と協力行動の分析[横田義史]
来年度の活動計画	これまで同様、外部から報告者を招聘したセミナーを定期的に開催し、最先端の研究成果を報告していただきながら、各メンバーが自身の成果をまとめ、公刊する努力を続ける。